学校番号	414

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	『総合マスター世界史』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまで「歴史総合」等の学習で培ってきた知識について問題演習を通してより確実なものとして定着させましょう。
・様ざまな立場から歴史を考察し、歴史的資料を正確かつ客観的に読み取ることのできる力を養いましょう。
・常に現代的な視点を持ち、自らの言葉で世界の課題を把握し、まとめ、伝えられる力を身につけましょう。また、その課題の解決にも努めましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「歴史総合」の学習内容を定着させることができる。演習を通してより正確な知識の定着が見受けられる。資料についてその歴史的背景を正確かつ客観的に読み取ることができる。現在の世界の諸課題について、これまで学習してきた知識を十分に活用しながら調べ、まとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】
各主題にかかわる課題を総合的にまとめたうえで、自らの意見として発表することができる。プレゼンテーション等の場にあってはちがいだけを強調するのでなく、異なる他者の意見を受け入れ、さらなる発展や止揚させることができる。

【学びに向かう力、人間性等】
演習から考察を深めた証左として、世界の歴史から共通性と差異性を学び、多文化で多様に展開されている現在の世界について積極的にかかわり、望ましいありようを描き、他者と結びながら解決しようとする技能を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	演習を通して、現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界のつながりを広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を身に付けている。また異なる他者の意見を受け入れられるしなやかさも持ち合わせている。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究､解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して相互に依存しあって成立している世界の中で、たがいの文化を尊重することの大切さについて自覚できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	先史の世界とアジア古代世界	人類の進化と文明の誕生 オリエント文明 中華文明と秦・漢 魏晋南北朝時代と五代十国 南アジア・東南アジア諸文明	a:問題演習を通して、先史からオリエント、アジアの古代文明の成立、諸王朝の成立などに関する知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:古代世界の生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述
	ヨーロッパ古代世界	イラン文明とエーゲ文明・ギリシア文明 ローマ文明とキリスト教	a:問題演習を通して、「文明の交流」としてのイラン文明の存在、ギリシア世界との交流や戦いなどに関する知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:ヨーロッパ古代世界の生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述
	イスラーム世界と西ヨーロッパ世界の成立	イスラーム世界 ヨーロッパ世界の成立 イスラーム世界の拡大 西ヨーロッパ中央集権国家	a:問題演習を通して、イスラーム世界の成立拡大と西ヨーロッパ世界の成立との関連などに関する知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:イスラーム世界や西ヨーロッパ中央集権国家の生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述
二学期	アジア世界の展開	遊牧民とオアシス民 東アジア世界とモンゴル帝国 ユーラシア≃ネットワーク 明の時代 東南アジア・朝鮮半島史 西アジア世界の繁栄とムガル帝国 清の時代	a:問題演習を通して、とくにユーラシア大陸に展開する遊牧民やその国家、また明・清といった中国の中央集権国家との争いや交流に関する知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:東南アジアや朝鮮半島、インドや西アジア世界の生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述

	近世ヨーロッパ世界の発展	ヨーロッパの海洋進出 ルネサンス・宗教改革 主権国家体制の確立と海外進出 産業革命 アメリカ独立革命とフランス革命 ウィーン体制とその崩壊 自由・国民主義の発展と 19 世紀後半の欧米諸国	a:問題演習を通して、ヨーロッパの海洋進出や産業革命、また市民革命後の国民国家体制の確立についての知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:市民革命が世界史にもたらした意義や産業革命後の生活や社会の変容について考察し、問いを表現できている。同時に反動的な動きについても触れることができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	演習課題 小テスト 定期考査	演習課題 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述
	帝国主義の時代から二つの世界大戦へ	世界分割とアジアの民族運動 20 世紀前半の世界	a:問題演習を通して、帝国主義がもたらした列強諸国による世界分割の歴史やそれに抗したアジアの民族諸運動についての知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:二つの大きな世界大戦の発端の原因とその結果について考察し、問いを表現できている。人々の生活や社会の変化についても触れることができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	演習課題 小テスト 定期考査	演習課題 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 演習ノートの記述
三学期	現代の世界	東西の対立とグローバル化	a:問題演習を通して、相互に依存しあいながら成立する現代の世界と、そこに至る「冷戦」をはじめとした世界の対立や融和についての知識が定着している。資料を取りまとめる技能が身に付いている。 b:東西冷戦下から始まる世界の変容と。「冷戦後」の世界、つまり現代のわたしたちが持つ諸課題について考察し、問いを表現できている。この間の人々の生活や社会の変化についても触れることができている。 c:諸資料を活用し、課題を追究し解決する活動に主体的に取り組めている。	演習課題 小テスト	演習課題 提出課題 ペアワーク	授業態度 発問評価 ワークノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度